



1 明北小『全校手形アート』(なかよし交流委員会企画) 5月26日(火)



なかよし交流委員会が企画する『全校手形アート』が、朝の“学びタイム”の時間に行われました。目的は「縦割り班の仲を深め、全校が一つになって絵を完成させる」です。

行うにあたり、どんな絵にするか6年生で考えました。子どもたちは、明北小の特徴として「赤い屋根・かんだち山・犀川」を思い浮かべ、児童会長が絵の素案を考えました。当日は、8つの模造紙に分割されて描かれた線描に、縦割り班で分担して色づけをしました。手のひらにインクをたっぷりつけ、スタンプのようにペタペタと色をつけていきました。手の跡が無くなるほどに、ペタペタがとても楽しかったようです。

色付けが終わった後、模造紙を全て並べると、かんだち山や犀川の自然に囲まれた明北小学校が完成しました。現在、視聴覚室前廊下に掲示されています。



2 明科小中三校『多様な学び学習室 自立支援員懇談』 5月27日(水)



小学校から中学校へ、子どもたちが安心して進学できるように、また、小・中それぞれの場で、その子が持つよさを活かして生活したり学んだりできるように、明科小中三校の自立支援員の職員が、児童・生徒の様子を参観したり、懇談したりする機会を適宜設けています。

懇談では、小・中の生活の様子、兄弟・姉妹関係の学びの姿、進路についての協力、原級と支援学級との連携等、様々な観点で話し合われます。子どもたちの生活や学びの姿が、小・中で共有されています。

3 明北小全校『サツマイモの苗植え』(環境委員会企画) 5月28日(木)



昨年度に引き続き、児童会環境委員会の企画で、『全校縦割りサツマイモの苗植え』が行われました。最初に、環境委員から、苗植えの手順や気をつけることの確認がありました。マルチに穴を開け、穴を掘り、苗を植えて行く作業の中で、低学年は、高学年のやり方を見せてもらいながら進めていました。低学年に手を差し伸べて、一緒に苗植えを行う高学年の姿もありました。

11月には、『全校やきいもフェス』が行われます。おき火にサツマイモを投入して焼き芋ができあがるまで、全校や縦割り班でレクを楽しむ時間も計画されると思います。子どもたちが、笑顔でいっぱいになるフェスが楽しみです。



4 明北小『小規模特任校オープンDAY①』 5月19日(火)



3回ある「オープンDAY」の1回目が行われました。下記は、参加者の感想です。

- 子どもたちが非常にのびのびと生活しており、お友達や先生との距離感が近く、明るい児童が多い。学校の良さや楽しそうな様子がダイレクトに伝わり、見学している側も笑顔になれる素晴らしい学校だと感じた。
- 見学者に対しても、普段から全校が友達であるかのように明るく挨拶ができる姿が大変立派であった。
- 先生方も、子どもたちと同様にのびのびと教育活動を行っているように感じられた。
- 学区外からの転入学を考慮した場合、保護者による送迎や家族が学校行事等に参加する際、どのような支援や配慮があるか、体制があるとありがたい。